

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(飲供)起債償還利子	会計名称	飲料水供給施設特別会計		担当課	水道課		
事業評価の有無	<input type="checkbox"/> 評価対象事業	予算科目	2 款 1 項 2 目	事業番号	8615	所属長名	野島康博	
法令根拠等	地方財政法	■ 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	田村政幸	
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 潤いのある水環境づくり	事業の目的				実施期間	【開始】	平成 18 年度
総合計画における本事業の役割	利子償還費の適切な予算の執行事務						【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし
事業の対象	地方債借入先	評価事業としないこととした理由				裁量のない事業であるため。		
事業の内容 (整備内容)	飲料水供給施設の建設事業で起こした地方債の借入先に対して、利子の償還を行う。							

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	29 年度実績	30 年度予定	9月末の実績	30 年度実績
直接事業費	335	299	0	0	0	299	地方債償還利子	千円	335	299	299	299
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0	料金収入	千円	1659	1560	1560	1560
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	335	299	0	0	0	299						
職員の人工 (にんく) 数	0.01	0.01				0.01						
1人工当たりの人件費単価	8,017	7,982				7,982						
※ 直接事業費+人件費	415	379				379						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		なし							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	5年間の合計		
					261	223	183	143	100	910		

事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	特になし	
一次判定	事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する	判断の理由 飲料水供給施設の起債借入に伴う必要経費であるため、事業継続と判断する。

二次判定	<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容
--------------------	-------

今後の方向性 (ACTION)

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。	